

○特別養護老人ホーム 光明苑 (短期入所生活介護を含む)

令和4年度特別養護老人ホーム光明苑事業運営状況について、下記の通り報告いたします。

総括

令和4年度は新型コロナウイルス感染症の予防と対応、その中で日常を取り戻すことへの試行錯誤を繰り返す1年となりました。また、高騰する物価や各種費用の増加も経営に大きく影響を与えることとなりました。光明苑では令和4年8月に4名、12月に6名の利用者様が新型コロナウイルス感染症を罹患し、利用者様、ご家族様並びに関係各所の皆様にご心配とご迷惑をおかけいたしました。幸い重症者は出ず、また前年度からの経験を生かすことにより大きな混乱もなく、感染の拡大については最小限にとどめることができました。感染症法上の5類相当への移行議論が進む中、施設として継続すべき感染対策と、少しでも緩和できる部分を職員一同で模索しております。

収入については、感染症発生時におけるショートステイ受け入れ停止、冬季に看取り介護の方のご逝去が続いたことなどを受け、稼働率が大幅に低下する時期がありました。生活相談員が主となり法人内での連携、他市を含めた積極的な営業活動を行い、なんとか影響をカバーできるよう努力いたしました。

支出については、様々な分野での物価の高騰、特に光熱水費の上昇が顕著で大きな影響を受けました。また技能実習生4名を新たに採用したことなどにより、人件費が前年度よりも増加となっております。

感染症の状況を見ながらガラス越し、パーテーション越し、オンラインといった面会方法を組み合わせながら可能な限りの面会を継続しました。看取り期や特段の事情がある場合については直接の面会も実施し、利用者様、ご家族様から数年ぶりに手を取り合うことができたと喜びの声を聴くことも出来ました。

ミャンマーからの技能実習生については、1期生の4名は特定技能に切り替え就労を継続しております。うち1名は光明苑からデイサービスやまびこへ異動し、介護福祉士国家試験にも合格するなど、能力の高さを示してくれています。2期生の4名については利用者様との信頼関係を深めるべく、熱心に業務に取り組んでおります。

施設内の事故については転倒・転落によるものが最も多く、うち骨折に至る事故が5件ありました。今後、ICT関連の機器の導入にも力を入れつつ、見守り体制の見直しを行い、事故発生防止と事故後の迅速な対応が行えるよう職員教育を行ってまいります。

1. 令和4年度サービス利用状況について

(1) 入所者状況（参考：令和5年3月31日 現在 合計55名）

・平均年齢 88.2歳（前年度89.8歳）

性別 男性 4人 女性 54人 合計 55人

年齢区分	男性人数	女性人数
65歳未満	0人	1人

65 歳以上 70 歳未満	0 人	1 人
70 歳以上 80 歳未満	1 人	6 人
80 歳以上 85 歳未満	1 人	6 人
85 歳以上 90 歳未満	0 人	11 人
90 歳以上 100 歳未満	2 人	24 人
100 歳以上	0 人	2 人
合計	4 人	51 人

・要介護度

平均介護度 4.30 (前年度 4.32)

要介護区分	人数
要介護 1	0 人
要介護 2	0 人
要介護 3	4 人
要介護 4	30 人
要介護 5	21 人
合計	55 人

(2) 退所状況

令和 4 年度の退所者は 21 名で、属性と退所理由は下記の通りです。

退所日	年齢	性別	要介護度	在籍期間	退所理由
4月22日	98	女	4	1年2カ月	入院先の病院にて永眠される。
5月4日	95	女	4	1年10カ月	施設にて永眠される。
5月14日	88	女	5	6年4カ月	施設にて永眠される。
6月6日	110	女	3	5年8カ月	施設にて永眠される。
7月2日	91	女	4	2カ月	入院先の病院にて永眠される。
8月8日	92	男	4	3年6カ月	施設にて永眠される。
8月23日	87	男	1	1年9カ月	入院先の病院にて永眠される。
9月9日	93	女	5	8年1カ月	施設にて永眠される。
9月14日	102	女	5	13年8カ月	施設にて永眠される。
9月16日	81	女	5	4年1カ月	施設にて永眠される。
10月20日	99	女	4	7年10カ月	施設にて永眠される。
10月20日	98	女	4	4年5カ月	施設にて永眠される。
10月26日	86	女	4	13日	施設にて永眠される。
11月25日	90	女	5	2年6カ月	施設にて永眠される。
12月19日	91	女	5	1年11カ月	施設にて永眠される。

12月24日	98	女	4	2年11ヶ月	入院先の病院にて永眠される。
1月7日	96	女	5	7年8ヶ月	施設にて永眠される。
1月7日	95	女	5	5年2ヶ月	施設にて永眠される。
1月12日	90	女	4	1年4ヶ月	施設にて永眠される。
1月17日	89	女	5	4年9ヶ月	施設にて永眠される。
2月15日	92	女	5	3年7ヶ月	入院先の病院にて永眠される。

退所理由は「永眠」が21件中21件でした。

病院での永眠が5件あり、5名様共体調を崩されて入院され、そのまま入院先の病院にて永眠されました。ケアプランに基づき、施設で看取り介護を行い永眠された方は14件でした。

昨年度は長期にわたってご入所されていた利用者様がご逝去されたケースが多く、またご入所されて短期間の1年以内にご逝去されたケースも2件ございました。

(3) 入所状況

令和3年度の入所者は20件で、属性と入所理由は下記の通りです。

入所日	年齢	性別	要介護度	入所理由
4月11日	91	女	4	家族が就労しており、介護者不在のため。
5月23日	85	女	4	家族が就労しており、介護者不在のため。
6月10日	79	女	4	家族が高齢であり、養護老人ホームでの対応困難なため。
6月20日	92	女	4	家族が高齢であり、サービス付き高齢者向け住宅での対応困難なため。
7月25日	92	女	4	家族が就労しており、介護者不在のため。
8月6日	89	女	4	家族が複数の介護をしており、在宅での生活継続困難なため。
10月1日	94	女	4	家族が就労しており、介護者不在のため。
10月3日	92	男	4	身寄りが全くなく、養護老人ホームでの対応困難なため。
10月14日	86	女	4	家族が就労しており、介護者不在のため。
10月19日	92	男	4	家族が就労しており、介護者不在のため。
10月24日	67	女	3	家族が就労しており、介護者不在のため。
12月19日	92	女	4	家族が経管栄養の対応が困難であるため。
12月23日	76	女	4	家族が養護老人ホームに入所となり、独居による在宅での生活継続困難なため。
1月13日	85	女	4	家族が高齢であり、在宅介護が不十分であるため。
1月21日	93	女	4	家族が就労しており、介護者不在のため。
1月23日	89	女	4	家族が就労しており、サービス付き高齢者向け住宅

				での対応困難なため。
2月10日	79	女	4	家族が就労しており、介護者不在のため。
2月18日	80	女	4	家族が就労しており、介護者不在のため。
2月27日	87	女	5	家族が就労しており、介護者不在のため。
3月13日	88	女	4	家族が高齢であり、在宅介護が不十分であるため。

神戸市の入所指針に従い、入所検討委員会での議論の上、重度の方、緊急性の高い方を優先に入所して頂いております。

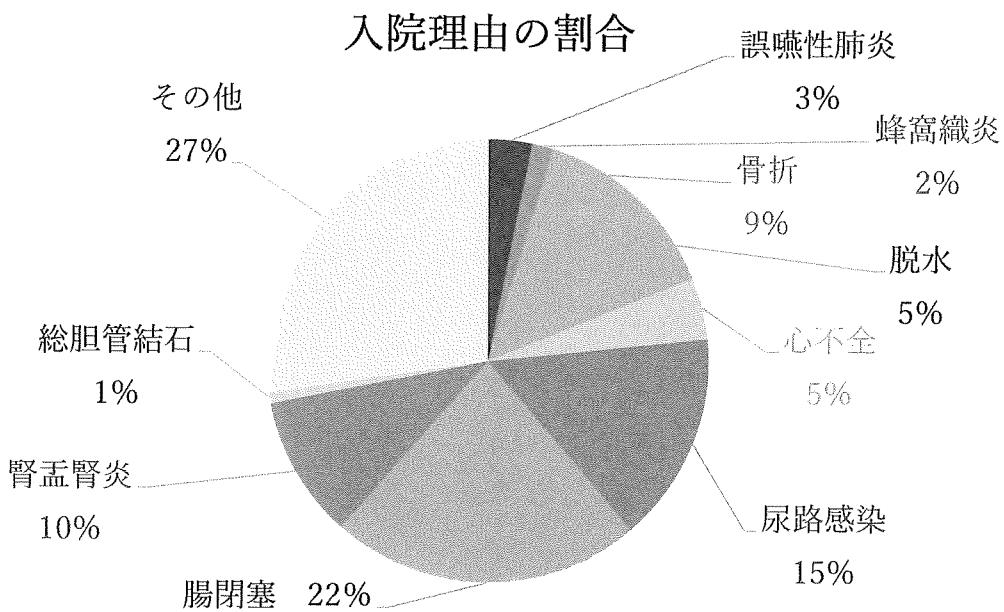
(4) 入所待機者状況

待機者数としては合計 168 名で、男性 57 名、女性 111 名です。その中で優先度の高い要介護 4、5 の方が 96 名で、うち男性が 34 名、女性 62 名となっております。

総待機者数は昨年度より若干減少傾向にあり、身寄りのない方、医療依存度の高い方、また男性の待機者が増えている傾向にあります。

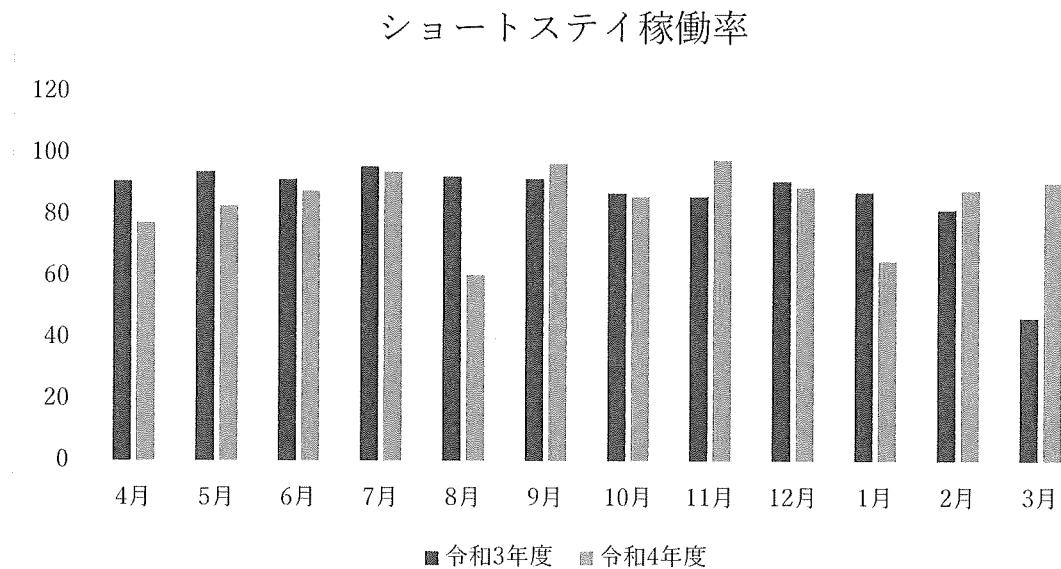
(5) 特養入院者状況（延べ利用者数）

疾患	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
誤嚥性肺炎				10	6								16
蜂窩織炎		2										6	8
骨折	16	2	12		8	5			2				45
脱水		8	19										27
心不全									23				23
尿路感染	42					11	7			10	8		78
腸閉塞	24	5		9	31	15				18		14	116
腎孟腎炎	24	1		13	15								53
総胆管結石									4				4
その他			14	17	3		16	17	20	10	28	14	139



入院の原因については、入所前からの既往である腸閉塞の再発を繰り返す方が数名おられ、最も多くなりました。数年前まで多くを占めていた誤嚥性肺炎については、歯科による定期的な口腔ケアを積極的に行っていること、また歯科医師から介護員への口腔ケア指導を継続していることなどもあり減少しています。その他については、脳梗塞、高カリウム血症、胸水貯留などがあげられますが、いずれも早期に発見し受診や救急搬送を行うことで、入院期間の短縮が出来たと考えております。

(6) 短期入所介護



前年度に引き続き新型コロナウィルス感染症の感染拡大に伴いご利用を控えられる方が一定数おられ、ショートステイ稼働率にも影響を受けました。

ご利用前日の体調確認の電話連絡を行い、当日送迎前にご自宅での検温、入館時に再度検温と手指消

毒を行うなどの感染症対策を徹底してまいりました。しかしながら、令和4年8月、令和4年12月～令和5年1月につきましては、入所者のコロナウイルス感染が発生しました。この期間については、感染対策により、ショートステイの受け入れを中止させて頂いた為、稼働率に大きく影響が出ております。そのような中で、ロングショートステイの枠を増員し、事業所内で感染者が出た場合でも、稼働率の低下を最小限に止めるよう努めました。また、感染者がない月には稼働率95%以上を目指に、営業も行いながら稼働率の向上に尽力しました。令和5年度については、稼働率の安定と社会的使命への取り組みとして、より新規のご利用開拓に力を注いでまいります。

2. 令和4年度事業計画の進捗状況について

(1) サービスの取り組みについて

➢介護サービス

・感染症対策

日々の感染症予防対策を行いながら、備品の管理、備蓄の確認などを日常的に行いました。感染症発生時には保健所、行政と連携を行いながら、全利用者様、職員のPCR検査を早期に実施するなど、初期対応に全力で臨み感染拡大防止に努めました。

・職員教育

年間研修計画に基づき、動画研修や拠点をまたいだWeb開催を取り入れながら、緊急対応、感染症対策におけるガウンテクニックなどについては実技を交えてのシミュレーション研修を行いました。

・看取り介護の充実

ご家族によっては施設で看取るということに最後まで悩まれ、途中で何度もお気持ちが変わり、病院との行き来を繰り返すケースもありました。その都度お話を伺いながら、病院受診の調整や、受診先の医師の説明に同行するなど、気持ちに寄り添いながら安心して最期を迎えるよう努めました。

・技能実習生の受け入れ

新たにミャンマーからの技能実習生4名を受け入れ、特定技能に移行した4名と共に、温かく根拠に基づいた日本の介護を伝えられるよう職員一丸となって育成を行いました。法人で外国人職員支援委員会を立ち上げ、生活面の支援も含め拠点を超えてフォローを行う体制を構築しました。

・法人理念の実現

友愛の精神に基づき、地域での困難ケース、虐待ケース等の緊急ショートステイを積極的に受け入れ、地域福祉に貢献しました。高齢者虐待防止、身体拘束禁止については全職員が指針や意識を共有できるよう、研修を行っております。

►医療的ケア

・医療的ケアの実施

日中、夜間を通じて医療的ケアを行う事の出来る職員を1名以上配置し、必要な方に対して喀痰吸引等の医療的ケアを行える体制を整えております。令和4年度は新たに2名が医療的ケアの研修を受講し、施設内での実地研修を終え県に認定特定行為業務従事者の登録を行っております。

►その他

- ・感染症発生時に備え備品や消耗品の備蓄の見直しや保管方法について再検討を行いました。実際に経験した感染症対策について、作成中の感染症B C P（事業継続計画）への落とし込みを進めております。
- ・事故発生防止委員会を毎月実施し、事故の分析と対応の周知を行いました。受診を伴うような重大事故については個別にカンファレンスを開催し再発防止に努めました。
- ・身体拘束禁止について、全職員に対し年2回の研修を行い、改めて拘束ゼロに向けた意思統一を行い、困難事例に対してチームで話し合い解決に導くというプロセスを事例も交えて共有しました。

(2) 令和4年度の重点取り組みについて

►感染症対策

- ・感染症については新規採用の職員も含めて、基本的な日々の対策に加えてガウンテクニック、感染経路の遮断についての知識を繰り返し確認し、新型コロナウイルス感染症発生時には前年度の経験を生かして迅速に初期対応を行うことが出来ました。感染が落ち着いている時期には、短時間で散歩や外気浴、近隣のスーパーに買い物に出かけるなど、久しぶりに外出の機会を持つことが出来ました。

►誤嚥性肺炎の予防

- ・月一回の口腔ケア指導を継続し、歯科医師から介護職員が直接歯磨きや口腔衛生についての指導を受け、口腔ケアへの意識を高めつつ技術の向上につなげられるよう努めております。今年度も誤嚥性肺炎での入院者の人数、割合とも低い水準で抑えられております。

►防災計画の見直し

- ・地震、水害、火災等様々な災害を想定し防災計画の見直しと各種訓練、研修を実施しました。火災避難訓練については、発生時特に混乱が予想されるため、当日参加できなかつた職員にも全員に書面での研修を実施し、マニュアルの確認とイメージトレーニングを行いました。BCP（事業継続計画）については、災害対策委員会を中心に、現状に即した生きた計画にするべく策定を進めております。備品や水、食料の備蓄を大幅に見直し、福祉避難所としての機能も果たせるよう体制を整えております。

►ケアの質の向上と重大事故防止

- ・介護職員の専門性を高めるため、座学のみならず感染症や緊急時対応のシミュレーションを数回に

渡って全職員に向け実施しました。リスク管理においては法人として外部専門家と新たに顧問契約を締結し、随時相談を行い、WEB研修等も開催しました。事故防止については、毎月1回事故発生防止委員会を開催し、他職種で事故、ヒヤリハットの分析と対策についての検討を行っております。受診、治療に至った事故等については神戸市に報告を行っております。

令和4年度 神戸市に報告した事故等の内容は以下の通りです。

発生日	年齢	性別	事故の内容
4月9日	77	男	朝食後、顔面が青白く呼吸をしている様子なし。救急車を要請。窒息の可能性が高く、心肺蘇生により心臓は動き出し、そのまま入院となる。
4月13日	97	女	夜間、ベッドサイドで床に左側臥位になって転落されているのを発見。左の額にたんこぶと少量の出血あり。受診し頭部CT検査結果異常なし。施設に戻られる。
4月14日	97	女	昨日転倒後、受診にて頭部CTの結果異常なしとのことで帰苑となるが、微熱・下肢の痛み・継続しており再度受診する。左大腿骨頭部骨折により入院となる。
5月30日	94	女	夜間訪室すると、居室中央にて左側臥位で転倒されているところを発見。病院受診する。画像診断の結果、右大転子骨折にて入院し手術施行となる。
8月23日	84	女	居室内ベッドとベッドの間に左側臥位で転倒されているところを発見。病院受診し、左大腿骨転子部骨折との診断を受け入院され、当日に手術を受ける。
12月27日	94	女	フロア廊下にて車椅子自操中に、ドンと床に顔面から転落されているのを発見。病院受診し、鼻から眉間にかけて裂傷あり縫合、鼻骨の骨折あり、入院となる。
2月14日	90	女	居室内ベッドから転落し、転落対策マット設置しており、その上に枕元とは反対の方向で仰向けにならっているところを発見。病院受診し、左膝骨折（左大腿骨遠位部骨折）と診断。入院はせず。
2月25日	83	男	食堂で転倒されており椅子で頭を打った可能性あり。本人に病院受診するか尋ねるが拒否。3日後にふらつきなどの症状があり病院受診し、硬膜下血腫との診断で入院となり手術を受ける。

(3) 行事・催し物について

令和4年度の主な開催行事

実施日	行事名	実施内容
4月7日 4月8日 4月9日	関東風桜餅づくり	手作りの桜餅とお茶でお花見の雰囲気を感じていただきました。
4月18日	ティラミスづくり	とろみ食の方にも楽しんでいただけるよう、くちどけの良いおやつを作って提供しました。
5月12日 5月18日 5月20日	よもぎ蒸しパン	蒸したてで温かい状態で、よもぎの香りと共に提供しました。
6月26日	たこ焼きづくり	人気のたこ焼きをいつも小食の方もたくさん食べていただけました。
6月22日 6月27日 6月28日	あじさいゼリーづくり	あじさいに見立てたカラフルなゼリーを利用者様と一緒に盛り付け、楽しみました。
7月14日	夏祭り	たこ焼き、焼きそばなどの屋台や輪投げなどのゲームを用意し、密にならないようフロア全体を使って夏祭りを開催しました。
7月21日 7月28日 7月31日	クレープづくり	ホットプレートで焼いた生地に、お好みのフルーツや具材を巻いて食べていただきました。
8月29日	パンバイキング	いろいろな種類のパンをお席までお持ちし、自由に選んで食べていただきました。
9月15日	盆踊り	感染症の為1か月延期となりましたが、太鼓や音楽に合わせて盆踊りの雰囲気を楽しみました。
9月19日	敬老の日	ケーキと記念撮影で敬老の日をお祝いしました。
9月24日 9月27日 9月28日	ずんだもちづくり	すり鉢で枝豆をすりつぶすところから利用者様にお手伝いをしていただき、皆で味わって頂きました。
10月3日	花火大会	玄関前駐車場で線香花火や手持ち花火を楽しんでいただきました。
10月11日 10月12日 10月18日	南瓜どらやきづくり	目の前で焼いたカボチャ餡のどらやきと職員の仮装でハロウィンの雰囲気を演出しました。
11月6日	焼き芋大会	玄関前駐車場で焼き芋を焼き、出来立てを召し上がって頂きました。
11月21日	ミャンマーのおやつづくり	ミャンマーからの技能実習生と一緒に、ココナッツミルクを使ったお菓子を作って振る舞い、喜んで頂きました。

		した。
11月24日	寿司バイキング	目の前で握ったお寿司をお好きなだけ召し上がって頂きました。
12月12日 12月19日 12月20日	餡まんじゅうづくり	蒸し器で蒸したてのあんまんを提供しました。温かいおやつに皆さん笑顔になられました。
12月24日	クリスマスパーティー	ケーキとプレゼントでクリスマスの雰囲気を楽しんで頂きました。
1月1日	施設内初詣	ホールに手作りの鳥居と神社を設営し、初詣の気分を味わって頂きました。
2月3日	節分	外国人技能実習生が鬼に扮し、和やかな雰囲気で記念撮影を行いました。
2月12日	チョコレートフォンデュ	お好きなお菓子や果物にチョコレートをかけて召し上がっていただきました。
2月19日 2月22日 2月25日	フレンチトースト	ホットプレートでフレンチトーストを焼き、フロアに甘い香りが広がりました。
3月16日 3月20日 3月28日	イチゴミルクゼリーづくり	見た目にも可愛いイチゴのゼリーを味わっていただきました。

いずれも密を避け、調理に参加して頂く利用者様にも手袋、マスクを着用して頂くなど、感染症対策を行いながら実施しました。

この他、毎月1回の行事食として、季節の食材を使った料理や各地の郷土料理を給食委託業者と連携して企画し提供しております。

3. 苦情対応について

日時	申立人	苦情内容	対応
3月13日	利用者の妻	ショートステイ利用前日から咳症状があり、受診し薬を服用しながらのご利用であった。4泊5日のご利用後、少し咳は見られたが大きく体調を崩されることなく退所されたが、その夜から発熱するなど様態が悪化し、誤嚥性肺炎で入院となった。利用中にも咳が続いていたのであれ	電話を受けた副施設長が、ご利用中の咳について緊急性はない程度の範囲であったため様子を見ていた旨を説明し、その後の急変までは予測しきれていなかった点について謝罪する。 今後、体調の変化についてはこまめに電話連絡を行い、その都度相談をさせていただくことを

		ばもっと早く連絡が欲しかつた。	お約束する。
--	--	-----------------	--------

4. 会議・委員会等

令和4年度においては、感染症の発生状況に応じて参加人数の制限や換気等を行いながら各種会議、委員会を実施しております。

○拠点共通

【定例会議】

月に一度各事業所の役職者及び職種の代表を招集し、事業実績や主な出来事の報告、相談を行いました。

【安全管理対策委員会】

月に一度、統括施設長を委員長として開催し、広く拠点におけるリスク管理について検討し、意思決定を行いました。

【人権擁護委員会】

月に一度、統括施設長を委員長として開催し、身体拘束の有無、高齢者虐待につながるような状況や不適切ケアが行われていないかの確認を行いました。苦情対応等の事例を共有することで、拠点としてのコンプライアンスの向上を図りました。

【感染症対策委員会】

3ヶ月に一度、統括施設長を委員長として開催し、感染症発生状況の確認、対応マニュアルの見直し、設備・備品の備蓄状況の確認や組織的な感染症対策に関する議論を行いました。

拠点内で利用者様、職員、職員の同居家族等に新型コロナウイルス感染症への感染が疑われるような事案が発生した場合等は、臨時感染症委員会を隨時開催し、情報共有と対応の検討を行いました。

【事故防止検討委員会】

4ヶ月に一度、統括施設長を委員長として開催し、拠点における事故分析、事例検討を行い、事故発生防止についての対策の検討を行いました。

【医療ケアの安全対策委員会】

3ヶ月に一度、施設長を委員長として医療的ケア（喀痰吸引・経管栄養）についてのリスク分析と対策について議論を行いました。

【衛生委員会】

月に一度、各部署代表者と拠点の職員代表を招集し、職場の労働状況と安全、衛生環境について検討

を行いました。産業医による巡視、外部専門家による職員のストレスチェックの結果分析も実施しております。

【災害対策委員会】

月に一度、各部署代表者により災害対策についての検討、防災についての研修や訓練の企画、運営を行いました。災害時のB C Pについても検討を重ねております。

【給食会議】

給食委託会社(グリーンハウス)を招き給食内容の確認やイベント等について情報共有を行いました。感染症発生時は会議に替えて文書でのやり取りとしました。

○特別養護老人ホーム光明苑（短期入所生活介護を含む）

【運営会議】

月に一回、リーダー以上の職員及び各職種の代表にて、業務上の課題の検討と運営に必要な情報共有を行いました。

【事故発生防止委員会】

月に一回、事故報告書とヒヤリハット報告書の分析を行い、原因解明と対策について検討を行い、事故の発生防止について議論を行いました。

【ケースカンファレンス】

毎月、介護支援専門員を中心にケース担当介護職員、生活相談員、看護職員、栄養士、介護部長で各利用者様の施設サービス計画書の立案に係るカンファレンスを行いました。

【ナースミーティング】

月に一度、施設長、副施設長、看護職員、生活相談員で看護業務上の課題について検討し、利用者様の健康状態についての情報共有を行いました。

【褥瘡予防対策委員会】

月に一度、施設長、副施設長、看護職員、生活相談員で褥瘡の発生状況の確認と、褥瘡発生のリスクのある利用者様について情報共有を行い、褥瘡予防の対策について検討しました。

【入所検討委員会】

月に一度、施設長、副施設長、生活相談員、看護職員で申込者のリストを確認し、入所者の選定、優先度の検討を行いました。

【業務改善委員会】

月に一度、介護職員で業務上の課題を抽出し、自由に議論しながら改善についての方法を話し合いました。

【排泄委員会】

月に一度、介護職員と副施設長で構成する委員会に排泄備品メーカーの担当者を招き、排泄ケア全般についての課題検討、ケア向上についての話し合いを行いました。

5. 研修等

- ・別紙「令和4年度研修実施状況」の通りです。

6. 防災計画について

- ・年2回の消防避難訓練を事業所合同で実施しました。火災発生想定の場所を事前にアナウンスせず、各自で火元の確認から行うことで、臨場感のある訓練を行うことが出来ました。当日参加できなかつた職員全員に書面での研修を行うことで、定期的にマニュアルを読み返し火災発生時のイメージができるよう取り組みました。
- ・災害発生時のB C Pについて、災害対策委員を中心に外部研修を受け、策定を進めました。
- ・備蓄食訓練について、実際の災害発生時を想定し、現場職員が自ら倉庫に備蓄食を取りに行き、必要な備品を運搬し、説明書を読みながら協力して調理を行うことによって実践的な訓練を行うことが出来ました。

7. 資金収支について

- ・別紙 令和4年度決算書の通りです。

○デイサービスやまびこ

令和4年度デイサービスやまびこ事業運営状況について、下記の通り報告します。

総括

令和4年度においても市中感染状況に比例して数名の利用者から感染者が発生したものとの昨年度と比較して数は少なかったです。傾向として同居するご家族の感染により利用控えとなることが多く、利用者が単独で感染してしまうという例はありませんでした。

日ごろから利用者、ご家族へ注意喚起を行ってきたことにより、利用前に発熱や感染状況等をお知らせくださるようになったこと、そしてスタッフの日常生活にも及ぶ感染対策によりデイサービス内でクラスターが発生することはありませんでした。

しかしながら、新型コロナウィルス感染による利用中断は数少なかったものの間接的な影響はありました。疾病、骨折等による入院や施設入所などの利用者数の減少に対して積極的営業を実施して稼働率の維持向上を図ってきましたが、新型コロナウィルスの感染拡大時期と重なっていたことから利用控えと結びつき新規獲得することが難しい状況がありました。11月から2月にかけて特に厳しい状況が続きました。そのような中でも営業努力を重ね、やまびこ新聞を発行し利用者のみならず居宅介護事業所へ配布するなどの広報も確実に実施するようにいたしました。結果、2月以降はやまびこの取り組みの評判を聞いて体験申し込み者が増えました。スタッフの前向きな姿勢も相まって3月は新規獲得が上向き体験利用から新規契約率が90%以上となっています。

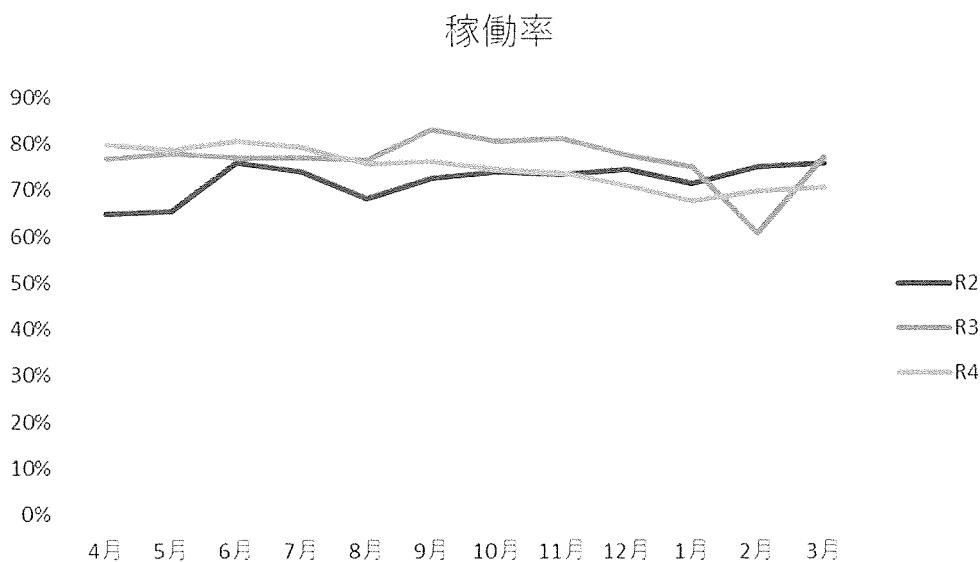
(1) 令和4年度事業計画の進捗状況について

一 事業方針

令和4年度も新型コロナウィルスの感染状況の把握に努め事業所内でのクラスター発生を最大限に予防することに努めて参りました。結果、利用者から数名の感染者はあったものの事業所内での感染は認められずクラスターへと結びつくことはありませんでした。年間を通じて営業を中断することなく、また臨時利用を受け入れるなど利用者やご家族の在宅生活の支えとなり邁進して参りました。

サービス内容については、感染対策を中心となることから動的なプログラムを導入することに消極的になり、個人単位で行えるサービス内容が主となりました。しかしながら、利用者や担当ケアマネージャーからの要望は動的で楽しめるサービス内容の声が多く、私たちの危機意識と感覚のズレがあったと思います。

そういう中で、感染対策に拘るがあまり閉鎖的で漫然としたサービス提供をしていては利用者満足度を高めることができず、また新規利者を獲得していくことは困難と捉えなおしました。サービス内容を見直し、これまで中止していた動的なレクリエーションや歌などを取り入れていく試みを開始しました。安心、安全を保障することが絶対であることは言うまでもありませんが、そのような中でも利用者の要望や世間の感覚とのバランスを見極め、私たち自身も成長し変化していくかなければならないと感じた一年でした。



二 ケアの質向上・専門ケアへの取り組み

- ・機能訓練、レクリエーション活動を通じて

長らく住み慣れた自宅での生活を安全に過ごしていただけるようにという想いを込めて機能訓練指導員（柔道整復師1名 看護師2名）による個別機能訓練を実施し、日常生活の上で欠かせない動作を促す訓練を実施してまいりました。また、継続して訓練に参加できるよう訓練以外のプログラム（レクリエーション）も試行錯誤し、もの作りや脳トレプリント、またコロナの状況等を鑑みながら動的なレクリエーションを実施して日々のデイサービスを楽しみにお越しいただけるように努めて参りました。

三 今年度の重点取り組み

- ・稼働率の向上

居宅介護支援事業所への営業や「やまびこ新聞」等による広報活動により稼働率の向上を目指しました。また中身（サービス）が伴うように、年度後半にはなりますが感染対策を行いながらも動的なレクリエーション行事も取り入れていきました。結果、居宅介護支援事業所からの問い合わせが増え体験利用及び新規契約が増えています。

- ・職員の育成

年度途中に複数の離職者が発生しましたが、チームを再編し昨年度同様に『助け合う、支え合う』の精神とスタッフ個々の主体性を重んじた結果、これまで以上に柔軟で積極的なチームを構築することができました。スタッフそれぞれが得意な所を活かし、前向きで明るいチームとなっております。今後はさらに個々のスキルをアップさせ地域のオンリーワンであるデイサービスやまびこを目指したいと思います。

(2) 資金計画

別紙令和4年度決算書のとおり。

(3) 令和4年度デイサービスやまびこ実績

別紙 令和4年度実績報告書参照

(4) 令和4年度年間行事

4 月	おやつレク（常盤堂・桜餅）月水金 季節のもの作り・カレンダー/壁画作成	10 月	おやつレク（なだしん・おはぎ）月水金 季節のもの作り・カレンダー/壁画作成
5 月	地車・フラワーアレンジメント 季節のもの作り・カレンダー/壁画作成	11 月	外部弁当（六兵衛）水 季節のもの作り・カレンダー/壁画作成
6 月	おやつレク（モロゾフ・プリン）水木土 季節のもの作り・カレンダー/壁画作成	12 月	おやつレク（アンファンシャントゥール） 水木土 季節のもの作り・カレンダー/壁画作成
7 月	淡路屋・お弁当11日（月）/七夕祭り 季節のもの作り・カレンダー/壁画作成	1 月	おやつレク（本高砂屋・きんづば）月水金 季節のもの作り・カレンダー/壁画作成
8 月	夏祭り（小鉢ランチバイキング）22日、23日 季節のもの作り・カレンダー/壁画作成	2 月	節分 季節のもの作り・カレンダー/壁画作成
9 月	敬老祝賀会（松花堂弁当）1週間 季節のもの作り・カレンダー/壁画作成	3 月	おやつレク（アンファンシャントゥール） 火木土 季節のもの作り・カレンダー/壁画作成

令和4年度毎月実施行事

- ・感染対策に配慮して個別なもの作りを中心に実施してきました。
恒例となっている地域の銘菓のお取り寄せは大好評でした。
- ・お誕生日お祝い（個人別に随時）

(5) 研修

別紙 令和4年度 研修一覧表記載。

【R4年度 研修実施一覧表 【デイサービスやまびこ】

日付	時間	研修名	参加者
4月28日	17:30～ 18:15	リーダー研修	2名
6月23日	14:30～ 15:00	火災避難訓練	全職員
7月20日	14:00～ 15:00	水害避難訓練	全職員
8月4日	14:00～ 15:00	介護予防研修	3名
7月23日	17:30～ 18:30	身体拘束防止研修	全職員
7月28日	17:30～ 19:00	高齢者虐待予防研修	全職員
9月10日	17:30～ 18:30	認知症研修	3名
9月21日	14:00～ 15:00	水害避難訓練	5名
11月5日	17:30～ 19:00	高齢者虐待防止研修	全職員
11月7日	14:00～ 15:00	備蓄食研修	2名
12月15日	17:45～ 19:00	感染症・食中毒研修	全職員
1月26日	14:30～ 15:00	火災避難訓練	全職員

○住吉高齢者生活支援センター

令和4年度住吉高齢者支援センター事業運営状況について

下記の通り報告します。

1. 令和4年度総括

令和4年度の居宅介護支援実績は前年比・106.8%でした。

新型コロナウィルス感染症流行の中、あんしんすこやかセンターや近隣の医療機関等からの新規依頼があり、居宅支援件数を年間で維持することができました。

また令和4年度は御影北部あんしんすこやかセンターと住吉北部あんしんすこやかセンターの利用者を委託で引き継ぎ、ケアマネージャー1人あたり予防の担当件数も2名程度増やしています。

令和4年度の新型コロナウィル感染対策においては、昨年に引き続きサービス事業所での感染が多発し代替サービスの検討、調整に追われ苦慮いたしましたが、事業所内外での情報共有、情報整理に努め、利用者が安全に生活を過ごせるように支援してきました。

毎週火曜日に行う担当利用者への支援報告、情報交換、困難事例の相談や意見交換、社会資源の共有、勉強会など文書・資料で共有してきました。また法人内研修や事業所を越えた事例検討会、行政、地域包括支援センター、ケアマネージャー連絡会などの研修にもオンラインなど利用し積極的に参加することでスキルアップを図ると同時に、チームになって支援していくことを心掛けました。

令和5年度も新しい生活様式に対応しながら、感染症や災害対策への対応力強化を図るとともに、介護保険最新情報を常にチェックし、重点目標として掲げる医療との連携を意識し、中立公平性に十分配慮し、専門性の高いサービス提供が出来るよう各職員が自己研鑽に励み目標達成を目指してまいります。

2. 令和4年度利用状況

別紙 令和4年度実績報告書記載。

3. 業務内容

(1) 介護保険要介護認定申請代行

初回介護保険申請時、更新、変更申請時等の申請代行手続きを実施しています。

(2) 認定調査業務

専任の調査員3名により神戸市、他府県から依頼のあった調査を行っています。

(3) 総合相談業務

利用者、家族、地域の方に向けて窓口、電話での相談受付を実施しています。

(4) 居宅サービス計画（ケアプラン）の作成業務

新規、更新、変更申請、半年ごとの短期目標終了、介護サービスの変更時に居宅サービス計画書を作成し、サービス担当者会議を経て利用者、家族の同意を得た上で計画を実施しています。

(5) 介護予防支援委託業務

地域包括支援センターからの依頼を受け、介護予防ケアマネジメントを行いました。

(6) 医療と介護の連携

ケアプラン作成時に利用者、家族に同意を得てサービス担当者会議への意見を主治医に求めています。また、入院時には在宅の様子、身体状況を医療機関へ情報提供を行い、退院時には医療機関所属の主治医、メディカルソーシャルワーカー、看護師、リハビリスタッフ等から意見を得る為、カンファレンス等に参加し情報収集や連携を図っています。

(7) 包括的地域ネットワーク業務

住吉北部あんしんすこやかセンター、御影北部あんしんすこやかセンター主催のネットワーク会議に参加し地域の事業所、施設、病院、民生委員、ボランティア、警察、消防、区役所も含め防災、介護保険に関する事例検討等、テーマに沿った話し合いに参加し、今後のケアマネージャーとしての地域での役割について学び、支援に活かしています。

(8) 災害時の取り組み

担当利用者様の安否確認優先順位を記入した一覧表（4カ月更新）を作成し職員間で共有。災害時に利用者様の安否確認が素早くできるようにしています。

(9) 職員体制

主任介護支援専門員	1名
介護支援専門員	4名
介護保険認定調査員専任	3名

(10) 個人情報の保護と取り扱いについて

必要最低限の範囲で個人情報を使用することを本人、家族に書面にて了解を得ています。

(11) リスクマネジメントについて

事故発生件数 神戸市へ報告した事故はありません。

(12) 苦情相談

苦情相談はありません。

4. 法人・事業所内会議

(1) 定例会議

月1回 各事業所の管理者及び職種代表を召集し、各月の利用実績や主な出来事の報告、相談、情報交換、情報共有、議論を行っています。

(2) 居宅ミーティング

毎週火曜日 10:00 より各ケアマネージャーが1週間の担当利用者・家族支援について報告し、困難事例についての意見交換、新しい事業所、介護保険の最新情報、研修報告、施設内の報告事項等、情報交換、情報共有、議論を行っています。

(3) 事業所内勉強会

毎月第2火曜日 10:30 より各ケアマネージャーが当番制でテーマを決めケアマネージャーに必要な知識・技術、介護保険の最新情報等の勉強会を行っています。

(4) 安全対策委員会

月1回 各事業所の管理者及び職種代表を召集し、感染症、防災、職員の業務安全への取り組み等についての報告、情報共有、議論を行っています。

(5) 研修委員会

月1回 各事業所の管理者及び職種代表を召集し、研修計画の立案、運営上の課題などについて議論しています。

(6) コスト削減委員会

2月に1回 各事業所の管理者及び職種代表を召集し、コスト削減に向けての課題などについて議論しています。

(7) マーケティング会議

月1回 法人の居宅介護支援事業所・あんしんすこやかセンターの管理者及び各施設の職種代表を召集し、地域の行事や地域課題の共有、法人の地域貢献活動について議論しています。

5・研修

別紙 令和4年度 研修一覧表記載。

6. 資金計画

別紙令和4年度決算書に記載。

【R4年度 研修実施一覧表 住吉高齢者生活支援センター】

日付	時間	研修名	参加者
R4.4.14	16:00~17:30	事業所を超えた事例検討会 独居の末期がんの支援の方法について	伊賀
R4.4.1~ R4.9.30	9:00~17:30	介護支援専門員更新（前期）研修	佐藤
R4.6.10	16:00~17:30	事業所を超えた事例検討会 ケアプランチェック情報交換会	岸本
R4.7.12	13:30~15:00	介護支援専門員等の資質向上のための研修会 神戸市におけるこども・若者ケアラー支援	谷本
R4.7.21	13:30~15:00	御影北部圏域地域ケア会議 多職種連携で行う支援～8050問題	谷本
R4.8.29	13:30~15:30	医療介護連携を学ぶ研修会 心臓疾患を持つ利用者の退院時連携を考える	佐藤
R4.9.9	13:30~15:30	東灘区高齢者虐待防止研修会 介護者（ケアラー）の立場に立った支援を考える	岸本・川野
R4.9.22	13:30~14:30	住吉北部・御影北部ネットワーク会議	冠野
R4.9.26	13:30~16:30	神戸市自立支援型ケアマネジメント研修 支援で活用できる教育的役割を持った事例検討を学ぶ	岸本
R4.9.29	14:00~15:30	住吉本町地域ケア会議 地域におけるフレイルについて	岸本
R4.10.25~ R5.2.25	9:00~17:30	介護支援専門員更新（後期）研修	谷本・川野・冠野・佐藤 山本
R4.10.27	15:00~16:30	事業所を超えた事例検討会 高齢者虐待のある事例への支援について	谷本
R4.11.14	13:30~16:45	神戸市ひきこもり支援研修会	岸本
R4.11.25	14:00~17:00	神戸市若年性認知症職員研修	佐藤
R4.11.29	14:00~15:00	住吉台ネットワーク会議	岸本
R4.12.13	13:30~15:00	御影北部あんしんすこやかセンター相談会 成年後見制度や家族信託について学ぶ	川野
R5.1.13~ R5.3.1	9:00~17:30	主任介護支援専門員更新研修	岸本
R5.2.10	16:00~17:30	事業所を超えた事例検討会 事例検討会	川野

R5.3.6	14：00~15：30	住吉本町地域ケア会議 事例検討会	岸本
R5.3.23	10：30~12：00	住吉北部・御影北部圏域内 ケアマネジャー情報交換会	岸本・谷 本
R5.3.25	14：30~16：30	「食べる」を支える多職種連携 耳鼻科医の立場から	川野
		※法人研修 コンプライアンス研修（個人情報保護含む） 高齢者虐待防止・身体拘束研修	岸本・谷本・川 野・冠野 佐藤・栖田・山 本・西川

令和4年度 光明苑研修実施状況（施設内）

研修名	実施日	実施時間	職種	参加人数	主な内容
新入職員研修	4月3日	9時～17時	介護職員・看護職員	2名	高齢者虐待・身体拘束・倫理等
新入職員研修	4月4日	9時～17時30分	介護職員・看護職員	2名	基本的な介護技術
事故発生防止・緊急時対応研修	4月18日	16時～17時	介護職員・看護職員	10名	事故防止と緊急時の対応について
コンプライアンス研修	4月20日	16時30分～17時30分	全職種	5名	コンプライアンスと個人情報の保護について
事故防止・急変時シミュレーション	5月9日	16時～16時30分	介護職員	5名	事故防止と急変時の対応
事故防止・急変時シミュレーション	5月10日	16時～16時30分	介護職員	4名	事故防止と急変時の対応
高齢者虐待防止・身体拘束禁止研修	5月17日	16時～17時	全職種	8名	高齢者虐待と身体拘束について
新人職員フォローアップ研修	5月18日	16時30分～17時30分	新卒職員	2名	今年度入職の新卒職員のフォローアップ
事故発生防止・緊急時対応研修	5月19日	16時～17時	介護職員	7名	事故防止と緊急時の対応について
接遇マナー研修	5月20日	16時～17時00分	全職種	10名	施設職員として基本的な接遇
事故発生防止・緊急時対応研修	5月25日	16時～17時	介護職員	5名	事故防止と緊急時の対応について
事故防止・急変時シミュレーション	6月1日	16時～16時30分	介護職員	2名	事故防止と急変時の対応
高齢者虐待防止・身体拘束禁止研修	6月20日	16時～17時	全職種	9名	高齢者虐待と身体拘束について
日中想定火災避難訓練（実施・書面）	6月23日	14時30分～15時30分	全職種	40名	火災時の避難方法について
水害避難訓練（実施・書面）	7月20日	13時45分～14時30分	全職種	40名	水害発生時の避難方法について
高齢者虐待防止・身体拘束禁止研修	7月20日	16時～17時	全職種	5名	高齢者虐待と身体拘束について
高齢者虐待防止・身体拘束禁止研修	9月21日	16時～17時	全職種	5名	高齢者虐待と身体拘束について
認知症介護研修	9月29日	16時～17時	介護職員・看護職員	4名	認知症の理解と対応について
腰痛予防研修	10月13日	16時～17時	全職種	4名	腰痛のメカニズムと予防について
新人職員フォローアップ研修	10月14日	16時30分～17時30分	新卒職員	2名	今年度入職の新卒職員のフォローアップ
身体拘束禁止研修	10月18日	16時～17時	全職種	10名	身体拘束の弊害と代替ケアについて
備蓄食訓練	10月21日	14時30分～15時30分	全職員	3名	災害時の備蓄食の使用方法等について
介護技術研修（摂食嚥下）	10月27日	16時30分～18時	介護職員・看護職員・栄養士	9名	摂食と嚥下のメカニズムについて
身体拘束禁止研修	11月21日	16時～17時	全職種	10名	身体拘束の弊害と代替ケアについて
防犯研修	11月29日	15時30分～16時30分	全職種	4名	防犯の基礎知識と対応方法について
事故発生防止研修	12月6日	14時30分～15時30分	介護職員・看護職員	3名	事故の防止とリスクマネジメントについて
事故発生防止研修	12月6日	16時～17時	介護職員・看護職員	12名	事故の防止とリスクマネジメントについて
倫理研修	12月7日	16時30分～18時	全職種	9名	福祉に関わる者の倫理について
看取り介護研修	12月12日	16時30分～18時	介護職員・看護職員	7名	施設における看取りについて
ハラスメント研修	12月14日	16時～17時30分	全職種	7名	ハラスメントの類型と対策について
身体拘束禁止研修	12月20日	16時～17時	全職種	5名	身体拘束の弊害と代替ケアについて
ハラスメント研修	1月18日	16時～17時30分	全職種	5名	ハラスメントの類型と対策について
身体拘束禁止研修	1月24日	16時～17時	全職種	6名	身体拘束の弊害と代替ケアについて
消防訓練(夜間想定)・防災設備研修(実施・書面)	1月26日	14時30分～15時30分	全職種	40名	防災設備の使用法について
事故発生防止研修	2月8日	16時30分～17時30分	介護職員・看護職員	6名	事故の防止とリスクマネジメントについて
新人職員フォローアップ研修	3月15日	16時30分～17時30分	新卒職員	2名	今年度入職の新卒職員のフォローアップ

令和4年度 光明苑研修実施状況（施設外）													
研修名				実施期間		参加職員		主な内容					
介護職員実務者研修				7月～12月		3名		実務者研修修了資格取得					
喀痰吸引等研修				6月～9月		2名		介護職員の喀痰吸引等医療的ケア資格取得					
介護支援専門員更新研修				9月～2月		1名		介護支援専門員資格更新					
新型コロナウイルス感染症対応研修（Web）				8月26日		3名		高齢者施設における新型コロナウイルス感染症対応					
介護支援専門員新規研修				2月～5月		1名		介護支援専門員資格取得に資する研修					
看取り介護研修				3月16日		1名		施設における看取り介護の考え方					

光明苑	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
特養延定員	1,710	1,767	1,710	1,767	1,710	1,767	1,710	1,767	1,767	1,767	1,767	1,767	20,805	1,734
新入所数	1	1	2	1	1	0	5	0	2	3	3	1		
退所数	1		2		1		3	1	2	4	1	0	15	1.67
実入居者数	57	57	57	57	55	57	54	55	56	55	55	55	672	56.00
延入居者数	1,594	1,683	1,601	1,665	1,658	1,568	1,661	1,598	1,597	1,563	1,439	1,628	19,255	1,604.58
稼働率	93.2%	95.2%	93.6%	94.2%	93.8%	91.7%	94.0%	93.5%	90.4%	88.5%	90.2%	92.1%	92.5%	92.5%
平均入居者数	53.1	54.3	53.4	53.7	53.5	52.3	55.4	53.3	53.2	52.1	48.0	54.3		52.8
入院実人数	5	6	3	4	6	3	2	1	3	4	5	3	45	4.50
入院延人数	98	18	57	49	73	31	23	17	49	38	36	34	523	54.33
平均入院日数	19.6	3.0	19.0	0.0	12.2	10.3	11.5	17.0	16.3	9.5	7.2	11.3	11.6	11.6
介護1延人數	30	31	30	21	17	0	0	0	0	0	0	0	129	21.50
介護2延人數													0	0.00
介護3延人數	120	124	96	124	90	101	120	124	124	112	124	1,383		113.00
介護4延人數	676	709	665	683	649	659	777	703	733	785	772	884	8,695	673.50
介護5延人數	768	819	810	837	868	819	775	740	654	555	620	9,049		820.11
計	1,594	1,683	1,601	1,665	1,658	1,568	1,661	1,598	1,597	1,563	1,439	1,628	19,255	1,628
平均介護度	4.33	4.34	4.37	4.38	4.41	4.46	4.41	4.41	4.39	4.34	4.31	4.30		4.38
当期介護収入	20,697,697	23,218,553	21,234,470	21,178,556	22,227,740	20,783,276	20,881,983	20,208,540	20,625,898	26,122,556	18,738,831	21,960,290	257,878,390	21,556,715.33
前期介護収入	20,458,649	20,735,566	21,230,991	22,282,530	21,509,883	21,825,815	21,788,911	21,254,749	20,697,769	22,081,314	19,729,664	22,711,674	256,327,515	21,343,906
月一人平均収入	363,117.5	407,343.0	372,534.6	371,553.6	389,960.4	377,877.7	366,350.6	374,232.2	375,016.3	466,474.2	340,706.0	399,278.0	383,747.6	383,747.6
1人1日平均収入	12,984.8	13,795.9	13,263.3	12,719.9	13,406.4	13,254.6	12,571.9	12,646.1	12,915.4	16,713.1	13,022.1	13,489.1	13,392.8	13,392.8
短期延定員	420	434	420	434	434	420	434	420	434	434	392	434	5,110	425.83
実入居者数	36	33	39	42	27	42	44	40	35	31	38	39	446	36.50
延入居者数	323	356	364	403	262	401	370	434	380	290	341	396	4,320	351.50
稼働率	76.9%	82.0%	86.7%	92.9%	60.4%	95.5%	85.3%	103.3%	87.6%	66.8%	87.0%	91.2%	84.5%	84.5%
平均入居者数	10.8	6.0	12.1	13.0	8.5	13.4	12.3	14.5	12.7	9.7	11.4	13.2	137.4	11.8
支援1延人數	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00
支援2延人數	0	0	11	2	0	0	2	4	2	2	2	8	33	2.17
介護1延人數	20	19	24	43	14	52	46	50	54	51	63	50	486	28.67
介護2延人數	87	106	106	98	66	93	92	83	85	81	65	53	1015	92.67
介護3延人數	116	109	127	175	136	175	161	226	172	85	127	159	1,768	139.67
介護4延人數	91	105	79	67	39	63	39	55	58	62	58	96	812	74.00
介護5延人數	9	17	17	18	7	18	30	16	9	9	26	30	206	14.33
計	323	356	364	403	262	401	370	434	380	290	341	396	4,320	351.50
平均介護度	2.94	2.99	2.81	2.79	2.84	2.76	2.76	2.76	2.68	2.63	2.75	2.96		2.80
介護収入	3,853,971	4,299,415	4,175,372	4,855,391	3,491,037	4,859,822	4,380,407	4,850,205	4,504,280	2,929,491	4,276,324	4,592,813	51,068,528	4,255,710.67
前年介護収入	5,065,271	5,003,072	4,838,777	4,627,634	5,004,938	4,959,467	4,017,378	4,300,041	4,126,646	4,719,448	4,475,544	2,278,291	53,416,507	4,451,376
月1件平均収入	107,054.8	130,285.3	107,060.8	115,604.5	129,297.7	115,710.0	99,554.7	121,255.1	128,693.7	94,499.7	112,534.8	117,764.4	1,379,315.7	114,943.0
1人1日平均収入	11,931.8	12,077.0	11,470.8	12,048.1	13,324.6	12,119.3	11,838.9	11,175.6	11,853.4	10,101.7	12,540.5	11,598.0	142,079.7	11,840.0
合計稼働率	90.0%	92.6%	92.3%	94.0%	87.2%	92.4%	92.3%	95.4%	89.8%	84.2%	89.5%	92.0%		91.0%
前年合計稼働率	97.4%	95.9%	95.9%	96.8%	96.9%	93.2%	17.2%	17.0%	18.0%	17.3%	16.1%	9.2%		55.9%
合計収入前年比	96.2%	106.8%	97.5%	96.7%	97.0%	95.7%	97.9%	98.1%	101.2%	108.4%	95.1%	106.3%		99.7%
LS合計予算	25,805,753	26,665,945	25,805,753	26,665,945	26,665,945	25,805,753	26,665,945	25,805,753	26,665,945	26,665,945	24,085,370	26,665,945	313,970,000	26,164,167
LS合計執行率	95.1%	103.2%	98.5%	97.6%	96.4%	99.4%	94.7%	97.1%	94.2%	108.9%	95.6%	99.6%		98.4%

やまびこ	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
実稼働日数	26	26	26	26	27	26	26	26	27	24	24	27	311	25.92
実利用者数	97	93	92	98	92	87	86	83	85	82	82	83	1,060	88.33
延利用者数	774	744	774	755	750	713	698	686	711	614	611	687	8,517	709.75
新規利用数	5	1	8	3	4	1	5	4	3	1	3	3	41	6.31
利用中止数	0	5	2	20	3	0	7	15	0	2	3	4	61	5.08
1日平均利用者数	29.8	33.4	33.2	33.1	32.6	33.4	26.8	26.4	26.3	25.6	25.5	25.4		27.39
1人平均利用日数	8.0	8.0	8.4	7.7	8.2	8.2	8.1	8.3	8.4	7.5	7.5	8.3		8.03
稼働率	74.4%	71.5%	74.4%	72.6%	69.4%	68.6%	67.1%	66.0%	65.8%	64.0%	63.6%	63.6%		68.5%
前年延利用者数	797	809	800	831	794	865	837	843	837	720	485	834	9,452	787.67
利用者数対前年比	97.1%	92.0%	96.8%	90.9%	94.5%	82.4%	83.4%	81.4%	84.9%	85.3%	126.0%	82.4%	90.1%	
支援1延人数	5	5	20	6	14	6	6	6	3	4	3	20	98	8.17
支援2延人数	39	11	11	11	10	10	12	11	27	38	21	13	214	17.83
介護1延人数	387	397	401	407	392	390	394	372	366	311	309	346	4,472	372.67
介護2延人数	111	109	116	97	103	99	105	109	131	112	117	128	1,337	111.42
介護3延人数	183	165	160	159	151	146	142	148	142	117	110	130	1,753	146.08
介護4延人数	29	35	35	33	44	25	13	15	16	14	28	27	314	26.17
介護5延人数	20	22	31	42	36	37	26	25	26	18	23	23	329	27.42
計	774	744	774	755	750	713	698	686	711	614	611	687	8,517	709.75
平均介護度	1.80	1.84	1.83	1.89	1.89	1.85	1.75	1.79	1.78	1.71	1.82	1.79		1.81
当期介護収入	8,077,617	8,316,452	8,655,076	8,283,431	8,380,082	7,995,107	7,747,460	7,654,823	7,890,579	6,487,365	6,519,649	7,597,564	93,605,205	8,284,628
予算	8,104,299	7,804,140	7,804,140	7,804,140	8,104,299	7,804,140	7,804,140	7,804,140	7,804,140	7,203,822	8,104,299	94,250,000		7,904,193
執行率	99.7%	106.6%	110.9%	106.1%	103.4%	102.4%	99.3%	98.1%	97.4%	83.1%	90.5%	93.7%		99.3%
前期介護収入	7,036,656	5,941,356	7,456,878	7,606,264	6,266,070	7,406,138	7,187,412	7,156,442	7,737,328	6,864,261	8,479,543	6,920,393	86,058,741	6,952,227
対前年比	114.8%	140.0%	116.1%	108.9%	133.7%	108.0%	107.8%	107.0%	102.0%	94.5%	76.9%	109.8%		108.8%
月1件平均収入	83,274	89,424	94,077	84,525	91,088	91,898	90,087	92,227	92,830	79,114	79,508	91,537	88,307	
1人1日平均収入	10,436	11,178	11,182	10,971	11,173	11,213	11,100	11,159	11,098	10,566	10,670	11,059	10,990	

住吉支援センター	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
ケアマネ人員換算	5.5	5.5	5.5	5.5	5.5	5.5	5.5	5.5	5.5	5.5	5.5	5.5	44	5.50
居宅支援件数	184	186	185	181	184	177	175	184	180	178	182	181	2,177	181.42
平均件数	33.5	33.8	33.6	32.9	33.5	32.2	31.8	33.5	32.7	32.4	33.1	32.9	49.5	33.24
新規加算件数	7	3	6	5	5	7	5	9	5	4	6	3	65	5.42
医療連携	11	11	10	6	5	9	6	11	11	3	7	6	96	8.00
介護予防件数	9	9	14	14	14	13	13	13	13	19	19	19	169	14.08
認定調査数	50	37	49	23	41	49	49	41	34	37	70	57	537	44.75
認定調査数(神戸市内)	49	37	49	22	39	49	49	40	34	36	69	54	527	43.92
認定調査数(他都市)	1	0	0	1	2	0	0	1	0	1	1	3	10	0.83
介護1	80	81	83	83	81	77	72	77	76	76	78	81	945	78.75
介護2	47	47	45	39	41	39	39	38	39	38	42	40	494	41.17
介護3	33	32	32	35	32	33	37	38	34	30	26	26	388	32.33
介護4	14	16	15	15	20	19	17	18	18	21	21	20	214	17.83
介護5	10	10	10	9	10	9	10	13	13	15	14	136	11.33	
計	184	186	185	181	184	177	175	184	180	178	182	181	2,177	182.83
平均介護度	2.06	2.07	2.05	2.05	2.11	2.12	2.17	2.20	2.18	2.20	2.19	2.15		2.13
前期月収入	3,149,380	2,973,262	3,011,993	3,110,656	3,115,629	2,982,291	2,848,261	2,986,603	3,523,743	3,350,952	3,445,559	3,540,880	38,039,209	3,169,934
当期月収入	3,264,148	3,288,497	3,260,896	3,931,123	3,478,146	3,376,147	3,301,270	3,489,698	3,509,675	3,318,672	3,387,809	3,429,827	41,035,908	3,419,659
対前年比	103.6%	110.6%	108.3%	126.4%	111.6%	113.2%	115.9%	116.8%	99.6%	99.0%	98.3%	96.9%	107.9%	107.9%
予算	3,141,667	3,141,667	3,141,667	3,141,667	3,141,667	3,141,667	3,141,667	3,141,667	3,141,667	3,141,667	3,141,667	3,141,667	18,850,000	3,141,667
執行率	103.9%	104.7%	103.8%	125.1%	110.7%	107.5%	105.1%	111.1%	111.7%	105.6%	107.8%	109.2%	217.7%	109.3%